

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)



働くことを軸とした安心社会の実現!

内藤 光雄 (新政みらい)



録画配信の
2次元コード

◆コロナ禍における雇用の減少と就労支援について

①感染症拡大の中での失業者の状況及び狭山市の有効求人倍率の推移は。

②狭山市ふるさとハローワークの利用状況及び就職に結びついた実績は。

環境経済部長 ①令和3年4月から6月までの埼玉県完全失業率は3.3%で、新型コロナウイルス感染症の影響前の令和元年の同時期と比較すると0.8ポイント悪化している。ハローワーク所沢管内での有効求人倍率の推移は、令和元年9月が1.51倍、2年9月が1.09倍、3年9月が1.02倍であり、減少傾向となっている。

②令和3年4月から10月までの7か月間の新規求職者数は981件であり、そのうち、就職に結びついた件数は263件となっている。

◆狭山工業団地拡張地区に進出する3社について

進出に伴い増加が見込める雇用労働者数及び税収増の見込みは。

都市建設部長 食品加工施設では、130名の従業員を雇用しており、今後、さらに雇用の増加を検討している。物流施設では、1,000名程度の雇用に想定しており、自動車関連機器製造施設では、2つの工場から400名の従業員の異動とともに、雇用の増加も検討している。また、平成28年度に実施した埼玉県の経済波及効果算出モデルにより、2社と仮定し推計した結果、年間約4億円程度の税収を見込んでいたが、進出企業数が増えたことから、さらなる税収増を期待している。



水野公民館等の複合施設の今後/避難所運営の業務補助を

三浦 和也 (改進黨)



録画配信の
2次元コード

◆水野児童館等がある施設の今後について

公共施設等総合管理計画において、児童館等について用途を廃止した建物は除却とあるが、水野公民館開設中に、複合施設である水野児童館等を除却することは現実的に可能なのか。

総合政策部長 水野公民館開設中に、水野児童館等で使用していたエリアだけを除却することについては、工事における騒音や振動が公民館事業の継続に影響を与えることや工事に係る経費もかさむことが予想され、現実的ではないと考えている。

◆(仮称)避難所運営サポーター制度の創設を

近年、台風などの発生時に指定避難所へ避難される方が増加しており、避難所運営は市職員が担

っているが業務が多忙となっている。業務補助のため、地域住民の有志の方を対象に、有償ボランティアとして登録する(仮称)避難所運営サポーター制度を新たに創設してはどうか。

危機管理監 令和元年台風19号において、地域の方々が主体となり自治会館などを避難所として運営した事例もあり、市職員だけでは人手が不足する際には、自主防災組織や地域の方々のご協力をいただきながら運営していくものと考えている。有償ボランティア制度の創設について、現状は考えていないが、人手不足を補完する手だての選択肢の一つとして研究していく。



デジタル化推進特別委員会活動報告

ICTを活用した議会の危機管理体制強化を図ります

デジタル化推進特別委員会では、6月の発足以来、議会の危機管理体制の強化を図れるように、インターネットを介して、場所や時間に左右されることなく、情報共有や連絡が可能となる体制を構築するために活動しています。



オンライン会議接続状況の確認

活動概要

第4回定例会までの活動概要は次のとおりです。

- 現代社会のデジタル化について委員会内で研修
- 全議員のデジタル環境の調査・確認
- 委員会による、庁内接続環境でのオンライン会議の試行
- 委員会による、自宅や外出先からのオンライン会議の試行
- 会派代表者・議会運営委員会による、控室からのオンライン会議システム接続状況の確認

以上のとおり、有事の際にも諸会議をオンラインで開催できる環境が確認できました。今後は、セキュリティ対策などの課題を検討した上で、オンライン会議のルール策定を行い、実際にオンラインで諸会議を実施したいと考えております。

基地対策特別委員会活動報告

市民生活の安心・安全を守るために

11月30日に委員会を開催し、北関東防衛局などからの情報提供に基づく10件の執行部報告と小中学校の公式行事にかかる要望活動について協議いたしました。

主な執行部報告の概要

航空自衛隊入間基地飛行場地区における調整池の整備について

雨水貯留及び処理能力向上のため、調整池3か所の整備と既存樋門2か所の撤去工事を行うもので、現在の貯留量が1万5千m³のものを改修及び新設することにより、2万2千300m³となります。工事期間は、令和3年10月25日から4年6月30日までの8か月となります。

航空自衛隊入間基地周辺におけるブルースモーン着クパルと思われれる物質の付

被害状況などの問い合わせ

件数は令和3年11月17日現在約390件で、対象車両は約1100台であり、370件については確認作業を終えています。なお、カラスモークとの因果関係が認められた場合には、国家賠償法などの法令に基づき、賠償する方針が示されています。

小中学校の公式行事にかかる要望活動

卒業式・入学式の開催時において、飛行訓練の中止及び緊急時以外の用務飛行の中止について配慮するよう、航空自衛隊入間基地司令あてに要望することとしました。



基地対策特別委員会のようす